1　習得した知識を活用して、学びを深める発問を工夫する。
2　意見交換、学び合い、発表等の言語活動を設ける。
3　学び、考え、疑問点等を振り返り、次の学びへの興味へとつなげる。

英語科「コミュニケーション英語Ⅲ」学習指導案

1　単元名　Chapter 17 Fairtrade to Lift People out of Poverty　　MAINSTREAM（増進堂）

2　単元の目標
（1）フェアトレードの仕組み、目的、４つの理念を理解することができる。
（2）クアパ・ココの例を読み、一方的な資金援助ではなく支援される側に立った後続性のある仕組みが重要であることに気付くことができる。
（3）貧困に関する資料を読んだり、得た情報を他者と共有したりすることで、貧困の原因や現状を理解することができる。
（4）貧困をなくすためにすべきこと、今、自分たちができることについて考え、他者に伝えることができる。

3　単元と CAN-DO 形式での学習到達目標との関連
・時事問題や社会的な話題に関する短い会話や説明、レポートを読んで、概要や要点を理解することができる。【GRADE6　読むこと】
・幅広い話題についての会話に積極的に参加し、適切かつ流ちょうに自分の考えを表現することができる。【GRADE6　話すこと（やりとり）】

4　単元観
「絶対的貧困層（１日1.25ドル未満で生活している人たちの層）」の存在は、日本で暮らす生徒たちにとってはあまり実感のないことかもしれない。教科書の本文を用いてフェアトレードの仕組みや、それらが貧困層の人々に与える影響などを多面的に理解することで、貧困をなくすためには支援される側に立った後続性のある取り組みが必要であることに気付かせたい。さらに本文の内容理解終了後は、世界の貧困に関する資料を読んだり、得た情報を共有させたりすることで、この題材に関するより深い理解を促したい。加えて貧困をなくすための手立てや、「今、自分ができること」について考えさせたい。

5　生徒観
習熟度別クラスであり、本校文系の中間層の生徒である。ほとんどの生徒が進学を希望しており、前向きに学習に取り組むことのできる生徒が多い。１年生の頃から小テスト等にも熱心に取り組み、語彙や文法事項などの知識を着実に身につけてきた。卒業後も、高校で習得した知識や英語力を活用しながら、「どんな環境においても、”答えのない問題”に最善解を導くことができる人材」を目指して学び続けてほしい。そのために、日本語や英語で情報収集をしたことを理解し、自分の言葉で伝える力や、それについて自分の意見を述べる力などを身につけさせたい。

6　単元計画（総時間６時間）
１時間目･･･本文全体の内容理解
２時間目･･･パラグラフごとの内容理解
３時間目･･･音読によるインテイク
４時間目･･･貧困の現状を更に詳しく知る活動１
５時間目･･･貧困の現状を更に詳しく知る活動２
６時間目･･･貧困の現状を理解した上で、自分にたちにできることを考え、伝える活動【本時６／６】